

発見するべきである。他に超音波による種子の處理の今後の發展（註）土壌の殺菌法、超高周波電磁波（ディアルミイ）（註）による加熱とか色々の可能性があるわけである。REAは農民の特殊な電力需要を調査し研究し、此等の需要に適合するが如き特殊な裝置の生産と販賣とを奨勵している。（終）（宍戸壽雄）

譯者註一 現在日本の電燈普及率は九一・六%でこれは世界に類例のないものである。しかし一方人口一人當電力消費量は一九三〇年 米國 八〇〇KWH 日本 二二〇KWHで米國の電力の都市集中度が分る。

二 このREA計畫はルーズベルトのニューディール政策の一端であつてTVA計畫（一九三三年通過）の如き水力開發の一聯の關係を持つものと考えられる。

三 一九三六年度テネシー開發局より電氣の供給を受けている自治團體の數は十六、電氣共同組合の數は八となつてゐる。

「米國TVA計畫」三八頁東洋經濟新報社刊。

四 ロシヤに於いて馬鈴薯に超音波を當てると收穫が著増した實驗結果から種々問題にされている。リीड、ダイジェスト二月號より。

五 高周波による分子間の加熱による急速な加熱方法が發明され既に一部加熱裝置が市場に出され話題となつてゐる。ディアルミイといふのは超短波による加熱裝置で醫療用に用いられてゐるものでやゝ原理的に異なる。

合衆國農業普及事業 (Agricultural Extension Services) の食糧生産促進

【合衆國情報局】

一九四六年に於いて合衆國全國を通じて約四五〇萬人に上る農村の男、女、青年が生活水準の向上、食料及纖維品の生産と販賣、家政、その他農村居住者に關係する各般の問題の處理について、協同農業普及組合 (Co-operative agricultural extension services) の援助を受けた。また普及部はヨーロッパ及びアジアに對する食料供給についても重要な役割を演じた。

加うるに普及部總裁の合衆國農務省への報告によれば、主として農業地帯に居住する二一〇萬の非農業者が食料生産、罐詰作業、その他自家加工作業等を含む種々の問題について普及部から助言と情報を得たということである。

普及部の指導を受けた人々の中には、一五〇萬に上る四Hクラブ (head, heart, hands and health 即ち智識、情操、勞働及び健康の向上を目的とする農村青少年の私的團體であつて四つの頭文字を取つて四Hクラブという) の少年少女がある。この人々は家畜を飼ひ、一五三萬八千エーカーの園藝地と畑地 (gardens & crops) を耕し、九〇〇萬羽餘りの家禽を飼育し、約二〇〇

○萬クオートの食料品を締詰にし、その他四日運動の目標たる「智識、情操、勞働及び健康」の向上に關係する多くの仕事を行つた。一九四六年の四日クラブの會員數は前年に比較し、五萬も増加した。

普及部事業の核心をなす「社會」教育計畫は連邦政府、各州政府、州立大學 (state land grant colleges)、地方自治體及び地方團體 (local organization) によつて立案せられ、一萬一千の有給専門の技術者からなる職員がこの實行に當つた。これらの職員は主として地方農業指導員及び家事實地指導員であつて、四十八州、アラスカ、ハワイ、ポルトリコの三千以上の郡 (counties) に駐在している。その他志願による無給の普及事業地方指導員 (unpaid volunteer local leaders) たる百萬以上の農業者、農村婦人、その他農村居住者がこの仕事に關與した。

連邦政府がこの普及事業の費用の半ばより多くを提供し、殘餘は各州、郡、町及び地方諸團體から支出された。

普及事業連邦基金は一九四五年七月一日以來八五〇萬ドル増加し、これがため二、一三名の新地方普及部職員及び監督員が増加された。各州政府はほゞこれと同額の基金を提供した。この増加基金の約八五％は郡部に於いて使用せられた。

普及部緊急農業勞働計畫は現在中止せられているが、一九四六にはこの計畫によつて延四五〇萬以上の農業勞働力の配置轉換が行われた。

これを實人員について云えば、二五〇萬の男、女、青年に當る

ものであつた。加うるには五〇萬の非農業者が普及事業志願指導員の教育をうけて農作業に従事した。郡普及部職員は食料増産、食料節約運動 (campaigns to produce more and save more food) に力をそゝいだ。穀物及交配たりもろこし (hybrid seed corn) の多收穫種を採用させて増産に貢獻した。施肥並に農作業の改善が奨励された。家事實地指導員 (Home Demonstration Agents) は人々に代用品の使用によつて緊急食料を節約すること、及び適切な罐詰法と冷凍法によつてより多く果樹蔬菜類を保存することを教えた。農民は小麥、とうもろこし及び燕麥を節約するために家畜の給飼法を變更した。家畜及び家禽は生産性の不十分なものを除去するために極端に取捨選擇された。

歸還兵は農業に従事しようと思つて幾千となく、地方農業指導員 (Country Agricultural Agents) の事務所におしかけた。彼等は農業と云う商賣についてやたらにいろいろな質問をした。即ち郡の中で最も良い農場の場所は何處か、どんな土地が耕作に値するか、彼等が考慮中の農場の地味のやせ具合はどうか等々。どの質問者に對しても地方農業指導員は一々細かい注意をはらわざるを得なかつた。

普及部の教導によつて三〇〇萬以上の農村自家加工者がその加工方法を改善した。普及部の家事實地指導クラブ (Home Demonstration Clubs) の會員は増加を續けて同年末には一一六萬、二千人に達した。

住宅、健康、記録、借地及土地使用の問題、(以下二六一頁)

農業綜合日誌 (二)

自昭和二十二年九月十五日
至昭和二十二年十二月三十一日

(二三百よりつづく)

あらゆる種類の農業事業、販賣、榮養、衣服、家庭設備、國際關係、娛樂——これら廣範な問題が普及部の農村居住者に對する教育計畫のうちに含まれていた。

普及部の「實地教育主義」(learn by doing)に對して世界的に關心が高まつて、一九四六年には多數の外國が農業指導者を合衆國に派遣して普及事業を研究させた。これらの國々はブラジル、チリ、ペルー、コロンビア、エクワドル、メキシコ、ハイチ、コスタリカ、フランス、ギリシヤ、スウェーデン、イラン、パレスティン及び中國であつた。(齋藤一夫)

(註) アラビア數字は日附を示す